

科目	単位	時間	履修学年	講師名
成人看護援助論 I	1	30	2	
ねらい	生命の危機状態にある対象および家族の特徴を知り、その状況に応じた看護の役割と方法を学ぶ。生命の危機状態にある対象の観察や看護判断、患者の状態に応じた看護について理解する。			
回数	授業内容			授業方法
1回目	生命の危機状態にある対象の特徴 周手術期看護 外科看護の役割と課題			講義
2回目	手術侵襲と生体の反応 創の治癒過程と創傷の保護 外科的治療の適応：呼吸管理・体液管理・栄養管理・輸血療法			講義
1回目	外科的治療を要する疾患・症状			講義
2回目	麻酔法：種類と適応、合併症			講義
3回目	手術前患者の看護 一般的な術前検査 手術の説明と同意 手術に向けた患者教育・指導 術前の具体的援助 手術当日の看護			講義
4回目	術中の看護 手術室の安全管理 入室前の看護 入室時の看護 麻酔導入時の看護 手術中の看護と看護師の役割 手術終了時の看護			講義
5回目	手術後の回復を促進するための看護 患者のアセスメント 環境を整える 早期離床の促進 疼痛管理 栄養管理 ドレーン管理			講義
6回目	術後合併症の発生機序 起こりやすい術後合併症の予防と発症時の対応			講義
6.5回目 (45分)	集中治療を必要とする対象の看護 集中治療における看護の役割 集中治療における看護の実際			講義
1回目	4. 生命の危機状態にある対象への看護の実際 1) 虚血性心疾患(心筋梗塞、狭心症)患者の看護			講義
2回目	2) 心不全患者の看護			講義
3回目	3) 循環器疾患看護 (大動脈解離・不整脈)			講義
1回目	4) 消化器疾患患者の看護			講義
2回目	5) 大腸がん患者の看護 ①手術前の看護 ②手術後の看護			講義
3回目	6) 胃がん患者の看護 ①手術前の看護 ②手術後の看護			講義
15回目 (45分)	終講試験			試験
教科書	系統看護学講座 別巻 臨床外科総論 (医学書院) 高齢者と成人の周手術期看護 術中/術後の生体反応と急性期看護 (医歯薬出版株式会社) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学③ 循環器 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑤ 消化器、			

評価方法	筆記試験（1時間[45分間]：100点） ：50点+10点+20点+20点
備考	授業内容は、1年次の解剖生理、病態生理の知識も必要とします。授業ごとにしっかり復習をし、理解して次の授業に臨むようにしてください。